JA共済

令和８年 11 月 18 日（No.08-26）

News Release

ＪＡ共済連、横浜市の「サステナビリティボンド」に投資
～GREEN×EXPO 2027 開催後の公園整備等を通じ、環境・社会課題の解決に貢献～

ＪＡ共済連（全国共済農業協同組合連合会、代表理事理事長 村山美彦）は、横浜市が発行する「横浜市令和８年度第４回公募公債(サステナビリティボンド)」（以下、「本債券」）に投資を行いましたので、お知らせいたします。

本債券で調達された資金は、横浜市上瀬谷地区における公園整備のほか、小中学校や下水道の整備等、環境・社会課題の解決に向けたプロジェクトに充当されます。

■ 投資の背景

ＪＡ共済連では、保障の提供に加え、防災・減災に向けた各種活動を通じて、豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに取り組んでいます。また、資金運用においては、安定的な収益の確保と社会課題の解決への貢献の両立を目指し、責任投資を進めています。

本債券の資金使途の一つである公園整備では、GREEN×EXPO 2027※1の開催後の跡地の大部分に、「環境」と「防災」をテーマとする新たな公園※2づくりが予定されており、大規模災害時には広域防災拠点としての役割を担うことが期待されています。

こうした公園整備をはじめ、本債券の調達資金が充当される事業は、本会が目指す「豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくり」にもつながることから、投資を実施しました。

※１ GREEN×EXPO 2027 は、横浜市の旧上瀬谷通信施設公園を会場に開催される国際園芸博覧会で、ＪＡグループも出店しています。

※２ 新たな公園の整備については、以下の横浜市公表資料をご参照ください。
https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/koen/tsukuru/seibikeikaku/kamiseya/kamiseyakoen.files/0047_20240704.pdf

■ 本債券の概要

＜詳細＞

銘柄	横浜市令和８年度第４回公募公債（サステナビリティボンド）
発行体	横浜市
年限	10 年満期一括償還債
発行額	120 億円
条件決定日	2026 年 11 月 18 日

本債券による調達資金は、横浜市が定める「横浜市サステナビリティボンド・フレームワーク※3」のうち、以下の事業等に充当されます。

※３　当該フレームワークの詳細については、以下リンクをご確認ください。
https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/zaisei/shisai-takarakuji-kifu/shisai/esg-finance.files/20241018_Yokohama_framework.pdf

グリーン・ソーシャル適格プロジェクト	取り組むべき課題
公園整備事業 （(仮称）旧上瀬谷通信施設公園)）	多様なニーズに応じた公園整備
小中学校整備	子どもたちの可能性を拡げる教育の推進と 魅力ある学校づくり
下水道整備	大雨に対する流域の安全度の向上 水質汚染の防止

＜充当事業のイメージ＞



公園整備事業



小中学校整備



下水道整備

（写真提供）横浜市

＜貢献が期待される主なＳＤＧｓ目標＞



今後も、ＪＡ共済連は、農業と地域社会の持続的発展に貢献するとともに、地域社会を構成する一員としての社会的役割を果たしていくため、資金運用における責任投資を進めてまいります。

以　上